

⚠ 注意

チューブ内径40mm以上のパッキン交換は、当社に修理を依頼してください。

チューブ内径40mm以上のロッドカバー締付トルクは極めて大きいため、パッキン交換時等で分解の必要が生じた場合は、当社に修理を依頼してください。

また、パッキンセットの供給は可能ですが、当社以外で分解した場合の損傷および故障については保証の対象外となります。

1 シリンダの分解

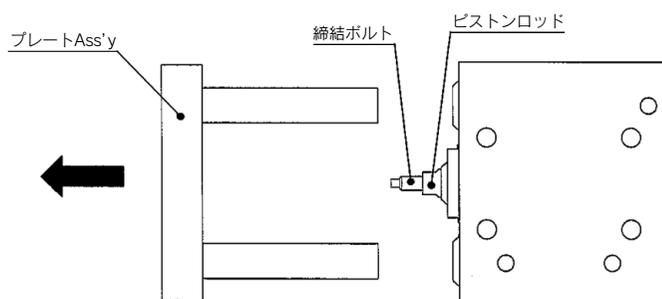
① 外観の清掃

分解時にゴミや異物がシリンダ内に浸入しないように外観の汚れを取り除いてください。

特にピストンロッドおよびガイドロッド表面には注意をお願いします。

② プレートAss'y取外し

ピストンロッドを引き出した状態で、ピストンロッドの2面巾をスパナ等で固定し、ピストンロッドを回しプレートから締結ボルトを取外し、プレートAss'yを引き抜きます。



③ ロッドカバー Ass'y取外し

ロッドカバーの2面巾をスパナ等で回し、ロッドカバー Ass'yを取外します。

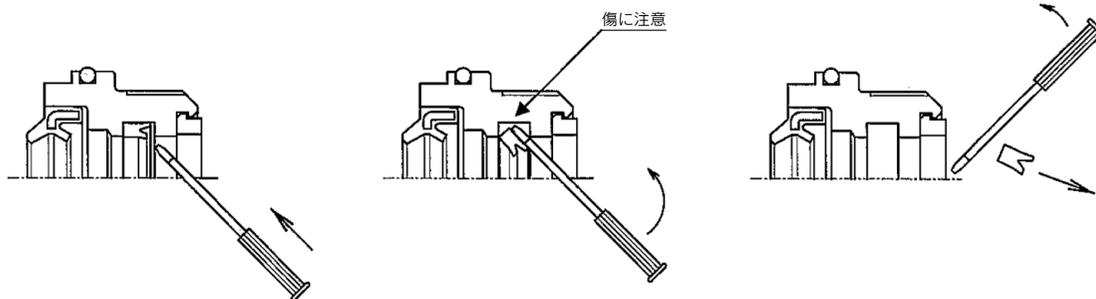
④ 分解

締結ボルトにナット部を取付けるなどしてピストンロッドを引抜きます。その際、ボディ内径に傷を付けないように注意してください。

2 パッキンの取外し

① ロッドパッキン

ロッドカバー後面から精密ドライバーなどを差込み抜き取ります。ロッドカバーのパッキン溝を傷つけないように注意してください。



② Oリング(ロッド側)【図1】

手で一方から押し出すようにして、浮き出たところを引抜きます。

③ ピストンパッキン【図1】

ピストンパッキン溝は深いため、精密ドライバーではなく手でピストンパッキン周囲の一方から押し出すようにして浮き出たところを引抜きます。

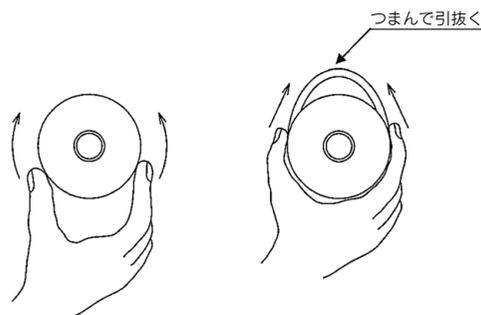
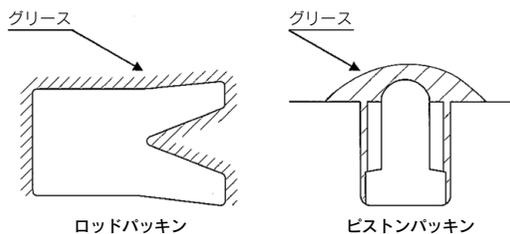


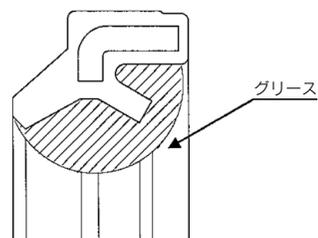
図1

3 グリースの塗布

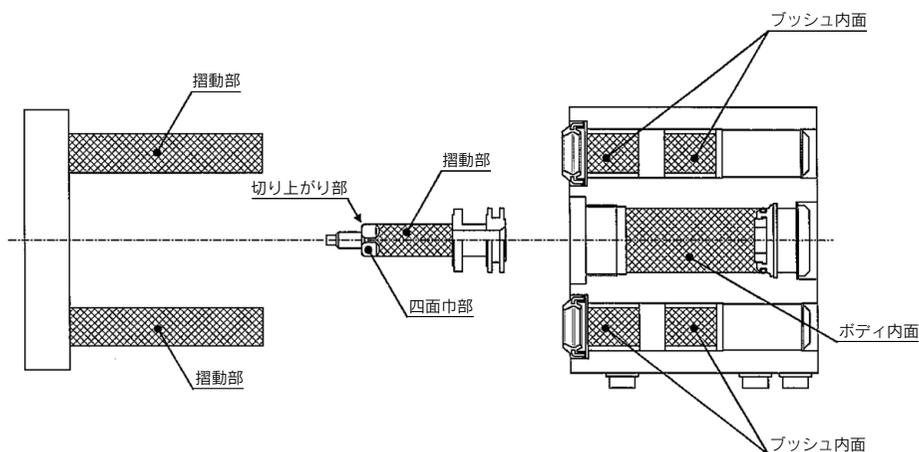
- ① ロッドパッキンおよびピストンパッキン
交換用パッキンの全周に薄くむらなく塗布してください。また、溝部にはグリースを充填してください。
- ② Oリング(ロッド側)
グリースを薄く塗布してください。



- ③ スクレーパ
スクレーパ(ピストンロッド部、ガイドロッド部)の溝部にグリースを充填してください。

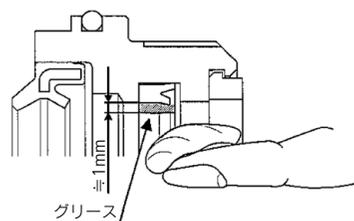


- ④ シリンダ各部品
各部品にグリースを塗布してください。



4 パッキンの装着

- ① ロッドパッキン
パッキンの方向を間違えないように装着します。
装着後にグリースをパッキンにむらなく塗布してください。
- ② ピストンパッキン
パッキンがねじれないように装着してください。
- ③ Oリング(ロッド側)
脱落に注意し、装着してください。



5 シリンダの組立

- ①ボディにピストンロッドAss'yを挿入
ピストンパッキンを傷つけないようにゆっくり丁寧に挿入してください。
- ②ロッドカバーの締付
ボディにロッドカバーを締付ける。(締付トルク:表1参照)
その際、Oリングのはみ出しやむしれ等がないように注意してください。
- ③プレートAss'yの締付
プレートのねじ穴部に接着剤を塗布する。(接着剤の種類:ロックタイト262【赤】)
プレートAss'yのガイドロッドをボディに挿入する。
ピストンロッドの2面巾をスパナ等で固定し、ピストンロッドを回し締結ボルトとプレートAss'yを締付ける。
(締付トルク:表2参照)
- ④組立確認
パッキンシール部よりエア漏れが生じていないか、最低作動圧でスムーズに作動するか確認をお願いします。

表1

チューブ内径(mm)	締付トルク(N・m)
20	140
25	260
32	500

表2

チューブ内径(mm)	締付トルク(N・m)
20	2.1~3.9
25	3.7~6.7
32	8.8~16.2

アクチュエータ

モジュラフォーマ
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラフォーマ
圧力制御機器

工業用フィルタ